

令和3年度 安立荘事業計画

1. 事業運営基本計画（事業目標）

- (1) 理念および基本方針、行動指針などの実践を通して理念経営の醸成、職員の資質向上を図る
- (2) 根拠に基づいた良質なケアサービスの提供により入居者への処遇向上に努める
- (3) 必要な情報管理等を踏まえ働きやすさへの環境改善、社会貢献としての地域ニーズの把握に努める
- (4) 財務体質の再構築および安定化を図る

2. 具体的計画

- (1) 理念および基本方針、行動指針などの実践を通して理念経営の醸成、職員の資質向上を図る
 - ① 職員の個別育成環境を整え、基本となるコミュニケーションスキルや人格の醸成を図る
 - ② 法人および施設での研修計画に基づき、職員の業務意欲向上および専門性の向上を図る
 - ③ 改正就業規則の周知徹底を図り、コンプライアンスの強化、規律ある職員の育成に努める
 - ④ 日常生活継続支援加算維持等も加味した介護福祉士資格取得者の増員対策に努める
 - ⑤ 中途職員や外国人技能実習生への丁寧な指導を行うための指導者育成に努める
- (2) 根拠に基づいた良質なケアサービスの提供により入居者への処遇改善に努める
 - ① 入居者の自立性を向上させるための基本的な介護サービスを徹底する
 - ② 回想法ケアを再度定期業務に落とし込めるように体制強化および改善に努める
 - ③ 施設内で構築されたルーティン業務を俯瞰しつつ、他との比較の上、効率化した業務に移行
 - ④ 「偲びのカンファレンス」を対象者ごとの対応を通して、看取りケアの専門性を強化する
 - ⑤ これまでのヒヤリハットを分析しつつ事故案件の軽減は元より家族との信頼関係の向上を図る
- (3) 適切な情報管理により、働きやすさへの環境改善、社会貢献としての地域ニーズ把握に努める
 - ① SDGsについて職員の理解を共有する
 - ② 施設全体の業務量を再考し、適切な有休の取得や残業の軽減など勤怠管理の徹底に努める
 - ③ 地域共生として施設の役割を意識し、これまで行ってきた「回想法の集い」をはじめ、各種地域イベントに積極的に協力する
 - ④ 第8期介護保険事業計画にも含まれる新たな在宅事業の展開について、丁寧に情報収集しつつ必要に応じて準備を進める
 - ⑤ 地域防災減災対策を講じるため、みよし市主催のBCP研修（日本福祉大学教員：山本克彦氏）に参加し施設内での防災環境の強化も含め必要な整備をする
- (4) 財務体質の再構築および安定化を図る（本体稼働率 97%・短期入所利用率 77, 5%確保）
 - ① 入所契約書を遵守し、入居者の稼働率を上げるために退所からの空床期間を減らす
 - ② 看取りケアの家族理解を高めることやケアによる体調管理を徹底し入院日数の減少を目指す
 - ③ 栄養補助食品やとろみ剤の変更などの見直しを行い、予算軽減を図る
 - ④ ポテンシャル診断の活用にて照明のLED化を進める
 - ⑤ 適正な予算配分を図ると共に、業務効率化のためのリモート対策や必要なIT化を進める